

港南区元気な地域づくり推進フォーラム開催

一人ひとりがつながり、お互いに支えあふまちをめざして

平成23年度は、第2期港南区地域福祉保健計画の初年度として、地域の皆様、福祉保健活動団体の皆様、行政機関等が協力しあって様々な活動に取り組んできました。

さらに、東日本大震災以後は各自治会町内会等において防災・減災に関する活動がより活発に行われるようになりました。まさに、「日頃からの人のつながりや支えあひは、いざという時役に立つ!」ということを感じた1年だったのではないのでしょうか。

このような状況のもと、平成24年3月14日に開催した港南区元気な地域づくり推進フォーラムでは、「地域のつながり・交流の場づくり」に取り組んだ2事例の報告と、地域防災に関する取組についての発表が行われました。



事例1

勇気を出して想いを声に・・・すべてはそこから始まった! 子育てサロン「てとてと ひろば」



「てとてと ひろば」は親子が気軽に集まって遊んだりお話ししたりして楽しく過ごす場です。2月から玉興町内会館や芹が谷地域ケアプラザで開催しています。このひろばの発起人・主催者は、本人の言を借りると「趣味は料理とタイ式ヨガ、ストレス発散方法は友達とのおしゃべり、というどこにでもいる平均的な主婦」の植木さん。フォーラムでは、その“平均的な主婦”の植木さんが勇気を持って声を出したことで、いろいろな人をつなぎ、助け合いながらひろばの開催に至った経緯を芹が谷地域ケアプラザ・コーディネーターの小山さんと共に発表していただきました。



てとてとひろば発起人の植木さん(右)と
芹が谷地域ケアプラザの小山さん(左)

発表要旨

7年前に出産し、子育ての仲間が隣近所にいないなど、地域の中での孤立感を味わう一方で、近所にあった「親子の居場所」の存在に救われました。

芹が谷に転居後、かつての自分と同じように悩む乳幼児のお母さんを見て、身近なまちに子育て中の親子が気軽に集える場所があれば、と考えるようになりました。

そのような時に出席したある会合で「芹が谷に子育てサロンを作りたい」と言ったところ、「区役所に相談してごらん」と言われました。区役所にはなんとなく怖いイメージを持っていましたが、勇気を出して相談したところ、真剣に話を聞いてもらうことができました。その結果、区役所をとおして地区社会福祉協議会や町内会、民生委員・児童委員、地域ケアプラザの方々をつなぎを持つことができ、皆様の助けを頂きながら玉興町内会館で「てとてと ひろば」を開催することができるようになりました。

私が自分の想いを少しの勇気を出して声にしたことで、周りの方々が気付いて話をきいてくれました。無駄なこともあると思います。でも声に出さなければ誰にも聞こえません。少し勇気を出して声を上げてみよう、ということが一番お伝えしたいです。



てとてと ひろば 参加者の声

- ★ 同じ年代の子どもを持つ友達ができ、近所に顔見知りできた
- ★ 家の近くに気軽に集える広場ができうれしい
- ★ 小さな子どもと接することで、元気をもらえる、自分の居場所にもなっている (スタッフの声)

てとてと ひろば

日時 毎月第2・4金曜日
午前10時～正午

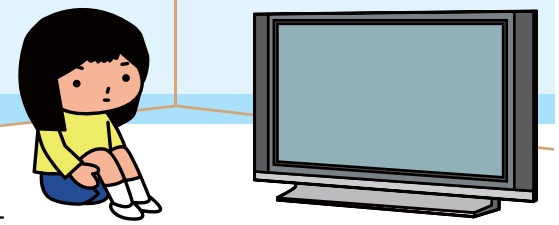
午後1時まではお昼ごはんを食べる場所として開放しています

場所 玉興町内会館
(芹が谷5丁目35-6)

連絡先(植木): 045-821-3279
お茶代100円
動きやすい服装で来てください。



地域で不登校・ひきこもりの支援 地域の人々による安心の居場所づくり



みなさんは「不登校」「ひきこもり」という言葉を聞いてどのようなイメージが浮かびますか？
「自宅にひきこもって学校や仕事に行かない」、「結局は家庭の問題でしょう」と思う方もいると思います。
しかし、ひきこもりの原因は様々で、家庭では解決できない問題もあります。各々にあった支援や居場所があることで、ひきこもりからの脱却の第一歩が踏み出せるのではないのでしょうか。

「港南区不登校・ひきこもり連絡会」は、学校以外の様々な『居場所』を提供する団体で結成された連絡会です。この連絡会の成り立ちと、活動内容について発表していただきました。

「港南区不登校・ひきこもり連絡会」の成り立ち (不登校の親の会「こだまの会」馬場さん) ～同じ悩みをもつ人々による思いの共有から～

きっかけは、息子のひきこもり体験からです。どのように子どもと接していったら良いのかわからず、知人の紹介で元教員の方に出会い、そこから同じ悩みをもつ保護者が集まって、月に一度、悩みを吐き出したり情報交換したりする「こだまの会」を結成しました。この間、およそ100人の人たちと泣き、笑い、共に成長を喜びあいながら出会いを繰り返し、やがて、もっと子どもたちの状況に応じた支援や情報が必要だと感じるようになりました。

しかし、世間の目や学校に行っていないのに、という罪悪感にとられ、地元の他団体とのつながりが持てませんでした。そこで、区役所へ相談をし、区役所から社会福祉協議会へとつながり、連絡会の元を築くことができました。連絡会ができたことで区内の様々な活動団体や区社協・行政と思いを共有する場ができた実感しています。この実感は困難を抱える人たちへのサポートをする上で、大きな自信につながると思っています。

参加団体

たまり場 ちよいさわ

午前中に皆で好きな絵を書きました。
お茶したあとは、トランプ。
なんだか実家にいるみたい。
～さわやか港南にて～



参加団体

寺子屋 ここ

支援者のみなさんです。その左のテーブルでは放課後、英語の勉強を教わっています。一人だと掛けそうだけど一緒に考えてくれる人がいるのは心強いですね。
～野庭団地サブセンター商店街にて～



連絡会の活動内容と現在の状況

(「こうなんYOU輝」佐藤さん)

～色々なタイプ・団体がたくさんあることによる「安心」の居場所づくり～

不登校・ひきこもり連絡会には、保護者会や支援団体など7つの団体が所属しており、「区内の子どもたちを応援する」という共通意識を持って情報交換や、問題解決に向けての話し合いを毎月行っています。

各団体の活動の方向性は様々ですが、その中から子どもの好みや性格に合った団体を選べるという点が、子どもや保護者の安心につながっていると思っています。

連絡会の今後の取組、方向性、課題を挙げるならば次の3つです。

- 1 セーフティネットとしての居場所づくり…学校へ行くことが生きることを諦める理由であるなら生きることを選んでほしい。
- 2 小中学校との連携
- 3 就労支援…「地域で生きる」をテーマとして支援を続けていると必ずたどりつくのが「就労」

そこで

連絡会からのお願い

「就労支援」について提案や協力、さらには実際の就労場所などがありましたら、是非ご一報ください。
支援する青少年は就労への意欲はあるものの、準備が足りません。彼らが、この地域で「生きる」ための支援を真剣に考えていきたいと思えます。地域のみなさんのお力添えをどうぞお願いいたします。

連絡先 港南区社会福祉協議会 ☎045-841-0256



みんなで進める地域防災の取組について

“一人ひとりのつながり”と“お互いの支え合い”



みんなで進める地域防災の取組として、「地域のつながり・交流の場づくり」や「災害に備えた日頃からのつながりづくり」について、区内の各団体から活動の報告や連携の提案などが発表されました。

また、区役所からは、160あまりの自治会町内会を訪問し、地域の見守り活動について意見交換した結果を報告しました。

これらの報告を受けて、“一人ひとりのつながり”や区民の皆様のご理解・ご協力がなおいっそう必要であること、関係団体、施設や行政の連携をさらに進める必要があること、などを再確認しました。

そして、結びに港南区連合町内会長連絡協議会会長、港南区社会福祉協議会会長、港南区民生委員児童委員協議会会長及び港南区長から「港南区みんなで見守り宣言」を提案し、会場の皆様の大きな拍手をもって採択されました。

港南区みんなで見守り宣言

1. すすめよう、となり近所のつながりを
2. つながろう、地域ぐるみで支えあい
3. ひろげよう、みんなで見守り港南区

今後は、この宣言を踏まえた取り組みが区内全域で進められます。

大規模災害の発生など、いざという時に力を発揮するのが「地域・一人ひとりのつながり」です！

地域の防災訓練や見守り活動など、ぜひ一緒に活動しませんか？